

平成 23 年 6 月 27 日  
内閣府公共サービス改革推進室

**民間競争入札実施事業**  
**環境省環境調査研修所施設の管理・運営業務の評価について（案）**

競争の導入による公共サービスの改革に関する法律（平成 18 年法律第 51 号）第 7 条第 8 項の規定に基づく標記事業の評価は以下のとおりである。

**I 事業の概要等**

**1 実施の経緯及び事業の概要**

環境省環境調査研修所（以下「研修所」という。）が実施する「環境省環境調査研修所の管理・運営業務」については、公共サービス改革基本方針（平成 19 年 10 月 26 日改定を閣議決定）において、競争の導入による公共サービスの改革に関する法律に基づく民間競争入札（以下「民間競争入札」という。）を実施することを決定した。これを受けて研修所は官民競争入札等監理委員会の議を経て定めた「環境省環境調査研修所の管理・運営業務 民間競争入札実施要項」（以下「実施要項」という。）に基づき、民間競争入札を実施し、受託事業者を決定した。その概要は以下のとおりである。

事 項	内 容
業務内容	環境省環境調査研修所の管理・運営業務 (定期点検業務、清掃業務、管理人業務、省エネ対策検討業務等)
契約期間	平成 21 年 4 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日までの 3 年
受託事業者	環境調査研修所施設の管理・運営共同企業体 代表企業 株式会社 山武 株式会社 ビケンテクノ・加藤商事株式会社 エス・イー・シーエレベーター 株式会社
契約金額	94,500,000 円 (税込)
実施に当たり確保されるべき達成目標	○施設管理・運営の不備に起因する事故等の発生が無いこと。 ○全ての研修生を対象とした「施設利用に関するアンケート」の設問 4 項目全てについて 80%以上の肯定的な評価が得られること。

## 2 受託事業者決定の経緯

入札説明書に基づき、入札参加者から提出された5者からの企画書について審査を行った結果、1者において入札参加資格を満たしていなかった。

入札参加資格を満たしていた4者について、平成21年2月23日に開札を行ったところ、4者とも予定価格の範囲内であったため、その中で総合評価点の最も高い上記の者が落札事業者となった。

## II 評価

### 1 評価方法について

研修所から提出された平成21年度及び22年度の実施状況についての報告（別添）に基づき、サービスの質の確保、実施経費等の観点から、実績評価を行うものとする。

### 2 対象公共サービスの実施内容に関する評価

#### (1) 対象公共サービスの質

##### ア 施設利用者の安全性の確保

###### (ア) 実施結果

確保されるべき達成目標として設定された「施設利用者の安全性の確保」については、施設の管理・運営の不備に起因する事故等の発生も無く問題は認められない。（平成21・22年度 事故発生回数0回）

###### (イ) 評価

適切に実施されたものと評価できる。

##### イ 施設利用者の快適性の確保

###### (ア) 実施結果

全ての研修生を対象として実施した「施設利用に関するアンケート」の結果は次のとおり。

設問事項	目標	平成21年度 肯定的な回答%	平成22年度 肯定的な回答%
Q1. 宿泊部屋の清潔度について	80%	95.6%	96.7%
Q2. 全館共用部分(廊下、教室、水まわり) の清潔度について		96.8%	96.9%

Q 3. 宿泊棟の施設利用をするに当たっての 安心・信頼度(管理人の対応)について	80%	97.9%	99.1%
Q 4. 敷地内の屋外環境(植栽)の快適度について		98.7%	98.1%

注：1 アンケート実施時期は通年実施（H21年度51回実施、H22年度48回実施）

※選択肢は①満足、②ほぼ満足、③普通、④やや不満、⑤不満の5段階とし、①～③を肯定的な回答とする。

2 H21年度対象者数1,960名のうち1,802通回答（回収率91.9%）

H22年度対象者数1,424名のうち1,332通回答（回収率93.5%）

#### （イ）評価

平成21年度51回、平成22年度48回実施したアンケートにおいて、（全ての設問で肯定的評価はいずれも90%を超える。）高い数値を保っており、適切に実施されたと評価できる。

#### ウ 各業務において確保すべき水準

定期点検業務、清掃業務、管理人業務、省エネ対策検討業務等について、実施要項で定められた業務内容を適切に実施されていると考えられる。

更に事業を実施する中で、改善提案に基づいて実施要項に記載のなかった以下の業務が実施され、事業者の創意工夫が発揮されていると考えられる。

① 遠隔管理システムによる緊急対応体制の構築により、落雷等による停電が発生した際には従前と比較して速やかな対応。

② モニタリング箇所の追加による、エネルギー消費量把握方法の改善。

（エネルギーの使用状況を詳細に管理し使用量節減の潜在的なキャパシティの把握）

③ 熱源設備の運転状況の把握。（冷暖房機器の熱源施設の稼働ロス低減）

※平成23年3月の東日本大震災を受けた節電対策を所内において検討した際にも、エネルギー消費量把握方法の改善・熱源設備の運転状況の把握に係るデータが有効に活用された。

④ 管理人業務においては、共用スペースのレイアウト改善や各種掲示の充実等施設利用者の視点に立った細やかな各種サービスの提供。

#### （2）実施経費

平成21年度から平成23年度に係る3年間の事業として民間競争入札を実施し、入札者が提出した企画書及び入札金額について、総合評価（除算方式（基礎点60点、加算点150点））を行い、落札者を決定した（従来は施設運営に係る個別の業務について、ほとんどが少額随意契約により発注）。

本事業の落札額は従来の実施経費（※間接部門費を除く 19 年度費用の 3 ヶ年分の合計額 99,053 千円）の約 95.4%に相当する 94,500 千円（税込）となっている。研修所側は、3 年間で約 4,553 千円の経費が削減されている。

従来費用（A）：99,053 千円（※平成 19 年度の 3 ヶ年分）  
契約額（B）：94,500 千円（平成 21 年度～23 年度）  
削減額（C）：4,553 千円  
削減率（ $C/A \times 100$ ）：4.6%（対 19 年度の 3 ヶ年分）

【従来経費の算出根拠】

※ {19 年度経費（33,527 千円）－特定清掃業務（764 千円）} × 3 ヶ年分＋特定清掃業務（764 千円）

注：本事業では、「特定清掃業務」について不定期に発生する業務であり、本契約期間においては、平成 23 年度のみ実施されている。また、平成 19 年度においても、特定清掃業務が実施されていた。

### 3 評価のまとめ

業務の実施に当たり確保されるべき質として設定された質・水準は、目標を達成していると評価できる。

事業者の改善提案による改善実施事項に基づいて、エネルギー消費量把握方法の改善、熱源設備の運転状況の把握・運転効率改善及び管理人業務の各種サービスの内容手順等の改善が実施され、また、遠隔管理システムの導入による緊急対応体制の構築により、自然災害が発生した際においても、従前と比較して速やかな対応が実施されるなど、事業者の創意工夫が発揮されている。

実施経費については、3 年間で 4,553 千円（削減率 4.6%）の経費削減がされており、経費削減については大きな成果はみられなかったものの、個別業務ごとの契約を包括化し複数年契約としたことにより研修所側の契約事務が軽減されている。

このため、次期事業においても、引き続き民間競争入札を実施することが適切と考えられる。

次期事業の民間競争入札の実施にあたっては、事業実績のない民間事業者においても実施状況を踏まえた企画書の提案が可能となるよう、実施要項等に本実施状況の内容を十分に情報開示することが必要である。

以上

環境省環境調査研修所施設の管理・運営業務の実施状況について  
(平成21・22 年度分)

平成23年6月16日  
環境省環境調査研修所

I 事業の概要

1. 委託業務内容

研修所施設の管理・運営に必要な定期点検業務、清掃業務、管理人業務、省エネ対策の検討業務、その他（植栽及び緑地管理業務）

2. 業務委託期間

平成21年4月1日～平成24 年3月31日

3. 受託事業者

株式会社山武（代表企業）

株式会社ビケンテクノ

エス・イー・シーエレベーター株式会社

加藤商事株式会社

II 達成すべき質の達成状況及び評価

各業務	測定指標	評価												
施設利用者の安全性の確保	施設の管理・運営の不備に起因する事故等の発生が無いこと。	適 (平成21/22年度 発生回数0回)												
施設利用者の快適性の確保	<p>全ての研修生を対象とした「施設利用に関するアンケート」の設問4項目全てについて80%以上の肯定的な評価が得られること。（詳細は別紙参照）</p> <p>アンケート実施時期：通年 (平成21年度は51回、平成22年度は48回実施)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成21年度</th> <th>平成22年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象者数：</td> <td>1,960名</td> <td>1,424名</td> </tr> <tr> <td>回収数：</td> <td>1,802通</td> <td>1,332通</td> </tr> <tr> <td>回収率：</td> <td>91.9%</td> <td>93.5%</td> </tr> </tbody> </table>		平成21年度	平成22年度	対象者数：	1,960名	1,424名	回収数：	1,802通	1,332通	回収率：	91.9%	93.5%	<p>適 (全ての設問において肯定的評価が90%超)</p>
	平成21年度	平成22年度												
対象者数：	1,960名	1,424名												
回収数：	1,802通	1,332通												
回収率：	91.9%	93.5%												
定期点検業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空調用自動制御機器定期保守点検（年3回）</li> <li>・吸収冷温水機等冷暖房保守整備（年2回）</li> </ul>	<p>適 (業務報告書の内)</p>												

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空調用冷却塔保守（年3回）</li> <li>・自家用電気工作物の保安管理業務（月1回／年次点検1回）</li> <li>・防災設備等点検業務（年2回）</li> <li>・エレベーター保守業務（月2回／年次点検1回）</li> <li>・真空式給湯暖房温水機保守（年3回）</li> <li>・飲料水槽等設備清掃及び点検（年1回）</li> <li>・グリーストラップ清掃（年1回）</li> <li>・排水管高圧洗浄（年1回）</li> </ul>	容、業務監督者の所見等から、确实かつ適切に実施されたと認められる。）
清掃業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>（日常清掃）</li> <li>・日常清掃業務（通年）</li> <li>・研修受入準備清掃業務（研修期間中の土曜日）</li> <li>（定期清掃）</li> <li>・害虫駆除</li> <li>①厚生棟（厨房含む）（年4回）</li> <li>②本館、宿泊棟、国際研修棟、実習棟、特殊実習棟、第二特殊実習棟（年2回）</li> <li>・ごみ収集運搬</li> <li>①資源ごみ（随時）</li> <li>②燃やせるごみ（週2回）</li> <li>③燃やさないごみ（月2回）</li> <li>・特定清掃業務（3年に1回）</li> </ul>	適 （平成21年度及び22年度業務報告書の内容、業務監督者の所見等から、确实かつ適切に実施されたと認められる。）
管理人業務	<p>管理人業務宿泊棟に駐在して宿泊棟管理を適正に行うとともに、研修期間中（研修生滞在期間中は昼夜を通して）は、研修生（講師含む）の入退所等に係る事務及び研修生の施設利用に関わる庁舎等の管理業務を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①宿泊棟・厚生棟の運営管理（通年及び研修期間の前日から終了翌日（土曜日））</li> <li>②ボイラー等運転の管理（通年及び研修期間の前日から終了翌日（土曜日））</li> <li>③研修生（講師を含む）受入準備に係る事務（通年及び研修期間の前日から終了翌日（土曜日））</li> <li>④研修生（講師を含む）入所、退所に係る事務（通年及び研修期間の前日から終了翌日（土曜日））</li> <li>⑤研修生（入退所時以外）の対応事項（通年及び研修期間の前日から終了翌日（土曜日））</li> <li>⑥その他の対応事項（通年及び研修期間の前日から終了翌日（土曜日））</li> </ul>	適 （平成21年度及び22年度業務報告書の内容、業務監督者の所見等から、确实かつ適切に実施されたと認められる。）
省エネ対策の検討業務	<p>省エネマネジメントシステムの運用に係る下記の業務（通年）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①電力使用状況等の調査・分析</li> </ul>	

	②省エネ及び温暖化対策の総点検 ③結果報告書作成	
その他（植栽及び緑地管理業務）	敷地内の植栽及び緑地を適切に管理し、良好な植栽緑地としての環境を整える業務	
	①植木剪定（年1回）	
	②芝生地管理（刈込：年10回／施肥：年5回）	
	③草地管理（年2回）	

#### IV 実施経費の状況及び評価

##### 1. 従来の実施経費と本業務経費

従来の実施経費（A）：99,053千円（※平成19年度の3ヶ年分）

本業務経費（B）：94,500千円（平成21年度～23年度）

##### 【従来の実施経費の算出根拠】

※ [19年度経費（33,527千円）－特定清掃業務（764千円）] × 3ヶ年分＋特定清掃業務（764千円）

注：本事業では、「特定清掃業務」について不定期に発生する業務であり、本契約期間においては、平成23年度のみ実施されている。また、平成19年度においても、特定清掃業務が実施されていた。

##### 2. 従前における施設管理業務経費と本業務経費を比較した経費削減効果

99,053千円－94,500千円＝4,553千円

削減率（C/A × 100）：約4.6%

##### 3. 評価

平成20年度以前においては、施設の管理・運營業務に係る業務を個別に民間業者に対して発注・実施していたところであるが、平成21年度以降の包括的な民間委託の実施により、約4.6%の経費削減効果があったものと評価できる。

#### V 競争状況及び評価

##### 1. 本業務の応札状況

入札参加希望者5者のうち、1者については企画書の審査を行ったところ必須項目を満たしていないと認められたことから失格とし、残る4者間において総合評価を実施した。

平成21年2月23日に開札したところ、金額が予定範囲内でありかつ総合評価点が最も高かった当該民間業者と契約した。

##### 2. 平成20年度の応札状況

平成20年度においては、施設運営に係る個別の業務のほとんどが少額随意契約により発注されていた。

### 3. 評価

施設の管理運営に係る契約を一括して行ったことにより、契約事務を軽減することができた。  
随意契約であった業務を含め民間競争入札に移行できたことは評価できる。

## VI 民間事業者からの改善提案による改善実施事項等

### 1. 改善状況等

民間事業者からの提案に基づき、遠隔管理システムによる緊急対応体制を構築するとともに、省エネルギーの観点からモニタリング箇所の追加によるエネルギー消費量把握方法の改善、熱源設備の運転状況の把握並びにこれに基づいた運転効率改善のための各種の措置を実施した。また、管理人業務においては研修生への各種サービスの内容及び提供手順等の改善等を実施した。

### 2. 評価

遠隔管理システムの導入による緊急対応体制の構築により、落雷等による停電が発生した際においても、従前と比較して速やかな対応が可能となった。

また、研修所における総電力消費量に対して比較的大きな割合を占める冷暖房機器の熱源施設の稼働ロスを低減することにより、研修所全体としてのエネルギー消費効率の改善を図るとともに、モニタリング箇所の追加によりエネルギー使用状況を詳細に管理することでエネルギー使用量節減の潜在的なキャパシティを把握することができた。平成23年3月の東日本大震災を受けた節電対策を所内において検討した際にも、上記措置により把握したエネルギー使用状況に係るデータを有効に活用することができた。

さらに、管理人業務においては、共用スペースのレイアウト改善や各種掲示の充実等施設利用者の視点に立った細やかな各種サービスの提供が行われたことにより、施設利用者の快適性の向上を図ることが出来たものと評価する。

## VII 全体的な評価

包括的な民間委託に移行したことによる費用節減効果は平成19年度の3ヶ年分と比較して約4.6%に留まるものの、施設管理に係る専門的な知見を有する技術者が常駐して施設の管理運営にあたることにより、改善を必要とする箇所を細かな部分に至るまで洗い出したうえでこれらが重大な支障となる前に対処することが可能となり、施設管理・運営の質を大幅に向上させることができた。

また、代表企業の監督のもと各事業者が体系的に業務を実施することにより、業務効率が大幅に改善された。

全体としては、費用対効果の観点から、従前と比較して大幅な施設管理運営業務の質の改善が図られたものと評価する。



## アンケート結果一覧表（平成21年度）

## 1. 各設問に対する回答の状況

	①満足	②ほぼ満足	③普通	④やや不満	⑤不満
Q 1. 宿泊部屋の清潔度について	41.3%	31.6%	22.7%	3.9%	0.5%
Q 2. 全館共用部分(廊下、教室、水まわり)の清潔度について	40.7%	32.4%	23.6%	2.7%	0.6%
Q 3. 宿泊棟の施設利用をするに当たっての安心・信頼度(管理人の対応)について	51.7%	29.5%	16.5%	1.5%	0.6%
Q 4. 敷地内の屋外環境(植栽)の快適度について	43.4%	30.2%	25.0%	1.0%	0.3%

※選択肢は①満足、②ほぼ満足、③普通、④やや不満、⑤不満の5段階とし、①から③を肯定的な回答とする（実施要綱2（2）②）。

## 2. 肯定的な回答が全体に対して占める割合等

	回答数	肯定的な回答数 (①～③)	肯定的な回答% (①～③)
Q 1. 宿泊部屋の清潔度について	1,802	1,723	95.6%
Q 2. 全館共用部分(廊下、教室、水まわり)の清潔度について	1,802	1,744	96.8%
Q 3. 宿泊棟の施設利用をするに当たっての安心・信頼度(管理人の対応)について	1,802	1,765	97.9%
Q 4. 敷地内の屋外環境(植栽)の快適度について	1,802	1,779	98.7%

アンケート結果一覧表（平成22年度）

1. 各設問に対する回答の状況

	①満足	②ほぼ満足	③普通	④やや不満	⑤不満
Q 1. 宿泊部屋の清潔度について	44.3%	32.2%	20.2%	2.7%	0.6%
Q 2. 全館共用部分(廊下、教室、水まわり)の清潔度について	43.0%	34.5%	19.4%	2.6%	0.5%
Q 3. 宿泊棟の施設利用をするに当たっての安心・信頼度(管理人の対応)について	60.6%	28.0%	10.5%	0.8%	0.2%
Q 4. 敷地内の屋外環境(植栽)の快適度について	49.5%	29.3%	19.4%	1.7%	0.2%

※選択肢は①満足、②ほぼ満足、③普通、④やや不満、⑤不満の5段階とし、①から③を肯定的な回答とする（実施要綱2（2）②）。

2. 肯定的な回答が全体に対して占める割合等

	回答数	肯定的な回答数 (①～③)	肯定的な回答% (①～③)
Q 1. 宿泊部屋の清潔度について	1,424	1,288	96.7%
Q 2. 全館共用部分(廊下、教室、水まわり)の清潔度について	1,424	1,291	96.9%
Q 3. 宿泊棟の施設利用をするに当たっての安心・信頼度(管理人の対応)について	1,424	1,320	99.1%
Q 4. 敷地内の屋外環境(植栽)の快適度について	1,424	1,307	98.1%